

Fromみぶ

お土産の習慣は江戸時代から

「義理」から「個人」に、自分買いも

旅の楽しみの一つ、お土産。朝日新聞が行ったbeモニターランケートでは四人に三人が必ず買うと答えた。旅の土産が一般化したのは寺社詣でが盛んになった江戸時代中期。共同体へ義理を果たすための土産として定着したが、戦後の高度成長期以降は家族や友人にといった個人的なものへと変わつていった。最近では旅の記念として自分で買う人も。何にせよ負担にならない程度の楽しい買い物にしたい。

いいえ 26
▼「いい」の人人が答えてました。
その理由は? (三つまで選択、5位まで)

そこでも買えない物がある	1007人
旅の記念に	775
品選びが楽しい	522
楽しみにいろいろがいる	478
コミュニケーションができる	420

都夢ちゃんのひとり言

千分の八十八と二・五
労災保険の保険率

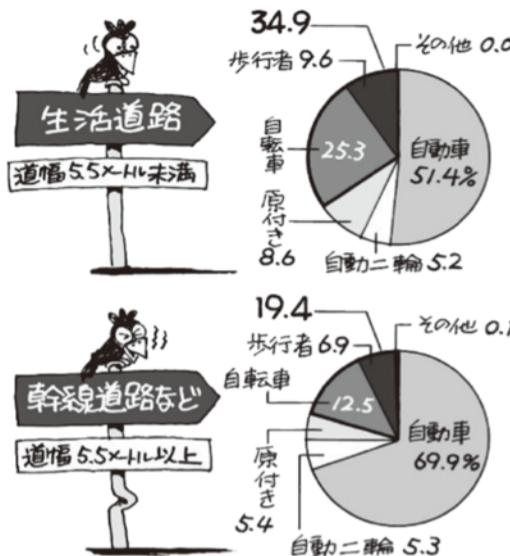
労働保険や社会保険の保険料は、賃金の額に保険率を掛けて求める方法で決まる仕組みになっている。年金保険料

や健康保険料が高いことはよく話題になるが、労災保険料がどうなのかというのはあまり話題にならない。そもそもそれは、労災保険は事業主に課せられた災害補償義務を、強制保険の仕組みにより担保した制度で、全額事業主の負担になっているからだ。では保険率はどのぐらいかというと、業種によって随分と違う。たとえば「金融、保険業又は不動産業」は千分の一・五、「機械器具製造業」は千分の五・五となっている。もっとも高いのは「鉱業、非金属鉱業又は石炭鉱業」で、なんと千分の八十八と

なっている。つまり、一千万円の賃金を支払った事業主は、主たる事業が金融業なら二万五千円だが、鉱業が主な事業なら八十

八万円の労災保険料を支払う義務があることになる。なんと業種が違うだけで三十五倍の差となるのだ。労災保険の給付が多い、危険な業種の負担は、その業種のなかで負担を分け合うべきというのがその理由になつていて。しかし、業種で負担して、災害を減らせば保険率の減るというインセンティブはどうの程度あるのだろうか。実は、その検証がなされたことは一度もない。危険な業種も社会の中ではなくてはならぬ役割を果たしているということから考えれば、保険料負担は全業種で平均して負担すべきではないとも言える。意外にこの議論、されたためしがないのだ。

区域の速度制限やガードレール設置など複数の対策を組み合わせて事故を防ぎたい。



Fromみぶ2

生活道路での交通事故防止には複数の対策を

全国の交通事故件数は近年減少傾向にあり、幹線道路では一〇年以前より四三%減った。だが、交通弱者が多い生活道路は三四%と減り方が鈍い。事故死傷者の内訳を見ても、幹線道路などでは「歩行者」「自転車」は合わせて一九・四%だったが、生活道路では三四・九%もあった。さまざまなお対策をするものの事故はなかなか減らない。市街

Part2
都夢ちゃんのひとり言
一三〇m³
たばこ一本に必要な換気

「受動喫煙の防止」が労働安全衛生法の条文に明記され、今年六月より施行された。当初国会に提出された改正案では、結果として職場での禁煙が義務付けられる内

容だったが、結局成立した法律では事業主に努めなければならないとする義務が課せられることになった。たばこを吸うかどうかは自己責任だが、喫煙者のまわりで煙を吸わされることがないように新たな規制が行われるということだ。ところでたばこ一本の煙を排除するためにはどれだけの換気が必要だろ。政府の検討会の報告書によると、法令にある屋内の空気環境基準は浮遊粉じん濃度〇・一五mg/m³以下で、たばこ一本が発する浮遊粉

姿になるだろう。

8の先進諸国で最後尾を走る日本の喫煙対策

だつたが、ようやく法律で職場を規制するこ

とに至った。これから日本の職場はどんな

姿になるだろう。

じんを排除してこのレベルにする必要換気量

は一三〇m³なのだという。この数字から、一〇席ある喫煙区域における必要換気量は、時

間当たり七〇三m³となる。ここから一秒あた

り風速にメートル程度の通気が必要という喫

煙場所の設定が導き出される。ただこのよう

な換気対策を講じても、受動喫煙を完全には

排除できない。仮に建物外に喫煙場所を設定

しても、数十メートル離れた場所に設置しな

ければ防げないとするデータもある。そもそもたばこを吸つた後、呼気に含まれる揮発性

の化学物質がほとんどなくなるには、四十五

分の時間が必要だという実験結果もある。G

8の先進諸国で最後尾を走る日本の喫煙対策

だつたが、ようやく法律で職場を規制するこ

とに至った。これから日本の職場はどんな

姿になるだろう。

脳に刺激を! 超難問? ナンプレ

「ナンプレ」のコーナーです。

ちよつと一息! 頭のリフレッシュしてみませんか? 左記のマスを全部埋めてください。正解者の中から抽選で三人の方に「全国百貨店共通商品券」千円分をプレゼントします。どしどしあ募してください。

このナンプレが解けた方は、支部名、コード番号、名前、機関紙に対するご意見ご要望等を記入の上、京交本部教育部機関紙編集チームまでお送りください。締め切りは八月十四日(金)必着です。なお当選者の発表は次号以降の機関紙「京交」で!

ナンプレ 京交695号解答

1	1	9	7	7	4	3
3	2	9	7	7	2	
1	5	8				
		7	9	9	8	
6	4	8	5	7	9	2
5						

8	4	6	5	1	9	2	7	3
7	3	1	2	4	8	6	5	9
9	2	5	7	3	6	1	4	8
6	8	4	3	5	7	9	2	1
5	9	7	8	2	1	3	6	4
3	1	2	9	6	4	5	8	7
4	5	3	1	7	2	8	9	6
2	7	9	6	8	3	4	1	5
1	6	8	4	9	5	7	3	2

当選者氏名(敬称略)
濱口忍(駅務支部)
松田辰也(東西線乗務支部)
江谷孝行(梅津支部)